

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和6年 1月 12日

公表:令和6年 1月 15日

事業所名: (株)M's family のびのび広場エムズ半田教室

	チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10			活動内容によってスペースを区切ったり、集中して行えるようにしている	パーティションを安全に配慮しながら活用する
	2 職員の配置数は適切であるか	8	2		保育士が配置され、きめ細やかな療育を行っている	引き続きスタッフを積極的に採用していく
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9	1		活動によってパーティションを活用しているが、構造化など子どもに合わせた検討が必要	視覚的刺激が多すぎることはないよう配慮が必要
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10				
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9	1		・ミーティングなど職員間で情報共有する時間を作っている ・職員全員の参画は難しい(働き方の違いもある)	SNSツールも活用し、スタッフ間の情報共有を深めていく。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10			1年に1度アンケート実施している	意見を踏まえて改善につなげている
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10			ホームページにて公開中、また事業所掲示板に掲示中	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	5		検討中	今後実施を検討していく
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10			オンライン研修などに参加	今後もスタッフのスキル向上のために実施していく
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	10			保護者面談を実施中	ミーティングでも随時利用者情報を共有し、支援計画作成につなげている
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	10			具体的に分かりやすいものに改善予定	困っていること、支援すべきことが具体的に分かるようにアセスメントシートを改善予定
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10			ミーティングや保護者面談を経て一人ひとりの「必要な支援」を個別支援計画に盛り込み、支援計画をふまえて活動(支援)内容を考えている。	1人1人に合った支援計画を今後も作成し、より良い支援につなげていきたい
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10				
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	10			日々の利用者の様子や経験させたいこと・ねらいをしっかりと持ち、プログラムを立てている。	引き続きミーティングを重ねながら立案していく。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10			季節を意識し、月ごとの活動表を作成している	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	10			利用者の構成なども踏まえ、個別と集団活動を実施している	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10			支援開始前に打ち合わせを毎回行っている	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	2		・勤務時間上難しい面もあるが、職員間で話すようにしている ・終了後は時間的に難しいが、日々時間を捻出し活動ミーティングなどの機会に行っている	SNSツールも活用しながら、スタッフ間の連携と情報を共有できるようにしている
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10			サービス提供記録だけでなく、実施記録と業務日誌で記録している	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	10			モニタリング会議を実施している	細かい利用者の様子も共有するようにしている	
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10			支援に関わるスタッフが参画の上、サービス担当者会議を実施している	相談支援員からも情報を共有できるよう連携していく
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	10			必要性を感じる。情報が欲しい繋がった支援を行っていきたい	相談支援員や役場など連携していく
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			10	非該当	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			10	非該当	

関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	10			必要性を感じる。情報が欲しい繋がった支援を行っていききたい	相談支援員や役場など連携していく
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	1	2	必要性を感じる。情報が欲しい繋がった支援を行っていききたい	相談支援員や役場など連携していく
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7		3		他の事業所とも相談支援員を通して連携していきたい
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	6	2		今後状況を見ながら検討していく
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子どもの子育て会議等へ積極的に参加しているか	10			自立支援協議会子ども部会に参加中	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10			連絡帳だけでなく送迎時に直接保護者様と話す機会もある	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	8	2		必要性を感じている。保護者に寄り添い、一緒に支援を考えていくことが必要な時期であるため、行っていききたい。	ペアレントトレーニングは必要であると感じているので、まずはスタッフ自身も勉強する必要がある
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10			契約時に説明。また事業所内にも掲示中	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	10			面談(アセスメント)時に支援計画内容についても相談し、支援計画作成時には説明の上保護者様から同意をいただいている	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10			保護者に迎え時間を早めてもらい、時間をつくってもよいかもと考えている	送迎時やお迎え時間に保護者を話をする機会を設けている
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	4	2	父母の会や保護者会は実施していない	今後状況を見ながら開催を検討する
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10				連絡帳以外にもお電話やメールなどご連絡ください
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	1		ブログ、活動表を活用し発信している。またエムズ通信のびのびを発行している	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	10				
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10			絵カードなどを活用	分かりやすい伝わりやすいを心がけています
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	2	3		今後開催を検討していく
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	10			非常時の対応について全スタッフが把握できているか再確認が必要	どのスタッフが勤務している時でも同じ対応ができるよう周知徹底が必要である
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	1		定期的な計画と訓練実施をしている	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	10			投薬指示書など診断内容が分かるものを提出していただくようにしている	服薬やてんかん、食物アレルギーなどの情報を全スタッフが把握し、正しく対応することが必要である
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9		1		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10			随時ヒヤリハット報告書を作成	ヒヤリハット報告書をミーティング時に紹介し、共有している
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10			虐待防止委員会を発足させ、研修を実施中	虐待が起きる環境にしないことも大切であると考え
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	10			身体拘束の適正化のための対策検討委員会を発足させ、研修を実施中	スタッフが単独で判断・行動することのないようにしていく

のびのび広場エムズは精進いたします。今後ともよろしく願いいたします。